

## < 2月 バレンタイン >



やさしい K-ART

2026年2月のテーマ (バレンタインワーク)

本物みたいなバレンタインチョコを  
作ります♪まちがえてたべないように…

### < テーマを決める >

2月といえばバレンタインデーですね。

バレンタインデーの日に、お父さん、お母さん、兄弟やお友達のために  
手作りチョコレートを作る人も多いかもしれません。

今回は、本物そっくりのバレンタインチョコレートを作しましょう。  
そして、みんなをびっくりさせちゃいましょう。

### < 問いを考える >

「バレンタインデーって知ってるかな？」

「バレンタインデーは、実は今から1700年以上前にできたローマ国民が  
お祈りをする日だそうです」

「バレンタインデーはチョコレートを贈るイメージがあると思うけれど、  
それは世界で行われていると思う？実は日本だけのようです。世界では、  
お花やお菓子などを贈るようです」「ちなみに、3月14日のホワイトデー  
でお返しをするというのも日本でできたイベントだそうです。」

### < 環境をデザインする >

本物そっくりに仕上げるためには・・・ということで、土台と  
して粘土でハート型のチョコレートを作り、色を塗ります。  
そして、アーモンド、カシューナッツ、コーヒー豆なども本物  
そっくりに作ってボンドでくっつけます。最後に、売っている  
チョコレートのように箱に入れて素敵に仕上げましょう。

1. 石粉粘土 80グラム程度
2. クリアケース
3. 敷紙 (黒)
4. 抜き型用パーツ (黒帯)
5. マスキングテープ
6. スクレーパー (四角黒)
7. 綿棒、爪楊枝など
8. ボンド少々
9. キットパス
10. ベビーパウダー



# < 2月バレンタインのそっくりチョコ > 実施報告 アンジェリカ田町保育園

2024-04-30 11:14:12



## < 探究活動を実践し、記録する >

2/3 (4歳児)

粘土は、こねこねしているといろいろな形になっていくので、子どもたちはとても楽しそうに丸めたり、体重をかけて押ししたりしながら、形を変えることを楽しんでいました。そして、ハートの型にはめてきれいな形にするところでは、いつも以上に集中していました。大胆にこねていくことと、繊細にアーモンドなどの小さなトッピングを「おいしそうなのってどんのかな」と想像しながら作っていました。

# <2月バレンタインのそっくりチョコ> 実施報告 アンジェリカ田町保育園



## <探究活動を実践し、記録する>

2/3 (5歳児) 今回は、チョコレートの固い質感や重さを出すため、石の粉を材料にした粘土を使用しています。普通は、あまり意識をしない粘土の素材を聞くことで興味が高まり、そのまま興味深くこね始めました。目標は本物そっくりのチョコレートですが、みんなハートの土台はきれいにできていて、トッピングは見本を参考に、それぞれ思い思いのものを作ったり、作ったものを他の人と交換することも楽しんでいました。次回の色塗りでどうなるか楽しみです！

# < 2月バレンタインのそっくりチョコ > 実施報告 アンジェリカ田町保育園



## < 探究活動を実践し、記録する >

2/10 (4歳児)

チョコレートの味を想像しながら、「パパには苦いコーヒーチョコ」「わたしは甘いミルクチョコ」と色付けをして、ナッツパーツを細かく仕上げていきました。作ってみたい、やってみたいアイデアが次々出てきて時間を忘れて取り組み、たくさんのチョコレートを見比べて楽しんでいました。クリアケースに赤い緩衝材を入れて、みんなの作品のチョコレートを入れると、とても美味しそうなチョコレートに見えてきました。ご家族も喜んでくれたのではないかと思います。

# <2月バレンタインのそっくりチョコ> 実施報告 アンジェリカ田町保育園



## <探究活動を実践し、記録する>

2/10 (5歳児)

5歳児クラスは、「いやだ～。〇〇ちゃんのハートがいい」「私のハートはきれいじゃない」とずっと言っている子たちがいました。作っていた時は楽しかったと思うのですが、完成作品を周りと比べて「上手」「下手」という評価をつけるようになります。「自己肯定感を高める」ために最終的に作品にこだわるのはここにあります。自分で認めてできた作品に自信を持てるレベルまで持っていくことで、少しずつ自己肯定感が積み重っていきます。今回、4歳児クラスと5歳児クラスで反応に大きな違いがありました。